

## TYPEQUICK サイトライセンス ご利用上の注意

対象製品：Typequick Professional サイトライセンス  
Typequick for Schools サイトライセンス

TYPEQUICK サイトライセンスでは、サーバ上で Typequick Server サービスが常に動いています。Typequick Server サービスは、毎日午前 2 時にデータベースの整理を行います。学習者が数千名も登録されているような大きなデータベースの場合は数時間かかる場合があります。この処理が中断されるとデータが消失してしまうことがありますので、ほかのスケジュールされた処理とかさならないようにご注意ください。

また、データベースの肥大化を防ぐために、TYPEQUICK を使用しなくなった学習者は年度末などに削除するようにしてください。

万一に備えて TYPEQUICK の練習記録データのバックアップを作成する場合はそのままデータファイルをコピーしてください。TYPEQUICK を起動している学習者がいなければ Typequick Server サービスを停止する必要はありません。練習記録データは下記のファイルです。

C:¥Typequick¥volatile¥data¥tqdb. script

(インストール先を変更した場合は、指定したインストール先の Typequick フォルダになります。)

バックアップ作業を自動的に行う方法について説明します。データファイルのバックアップを曜日別の名前を付けて毎日保存する例です。曜日ごとに 7 つのファイルが作成され、上書き保存されます。

1.C:¥Typequick¥volatile に tqbackup.bat と getWeekday.vbs を保存します。

tqbackup.bat ファイルの内容

```
net stop tqserver
Cscript //nologo "C:¥Typequick¥volatile¥getWeekday.vbs"
copy "C:¥Typequick¥volatile¥data¥tqdb.script" C:¥Typequick¥volatile¥tqdb%ERRORLEVEL%.script"
net start tqserver
```

getWeekday.vbs ファイルの内容

```
wscript.quit(WeekDay(date))
```

2.サーバで毎日午前 0:00(午前2時より前の都合のいい時間)に tqbackup.bat を実行するようスケジュールリングします。